

貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
I 流動資産	123,831,768	I 流動負債	463,293
1. 現金・預貯金(本部)	13,616,658	1. 未払金	248,017
2. 現金・預貯金(支部)	98,827,722	・養成講座運営費	200,000
3. 未収金	7,092,000	・H16年度保険料追徴分	48,017
・平成13年度未収会費	1,322,000	2. 預り金	49,212
・平成14年度未収会費	1,130,000	3. 仮受金	166,064
・平成15年度未収会費	950,000		
・平成16年度未収会費	3,690,000		
4. 立替金	180,500		
5. 仮払金(概算損害保険料)	4,114,888	II 固定負債	2,629,569
II 固定資産	5,784,966	1. 職員退職引当金	2,629,569
1. 什器備品	2,310,366		
2. その他の固定資産	3,474,600	正味財産の部	126,523,872
・財務調整積立金	2,200,000	(うち当期正味財産増減額)	△ 31,628,233
・退職手当積立金	600,000		
・中退金積立金	674,600		
合 計	129,616,734	合 計	129,616,734

計算書類に対する注記

【重要な会計方針】

1. 職員退職金引当金の計上基準について

- | | |
|---------------------------------|------------|
| ① 平成16年度期末職員退職金規程による要支給額 | 2,629,569円 |
| ② 平成16年度期末退職手当積立金 | 600,000円 |
| ③ 平成16年度期末中小企業退職金共済事業本部による試算支給額 | 674,600円 |
| ④ 平成16年度期末職員退職金引当金不足額 | 1,354,969円 |

なお、引当金不足額については、財政状況を考慮しながら、予算編成時に各積立金を増額等して補填計上していく。

2. 資金の範囲について

資金の範囲については、本部現金・預金、支部現金・預金、未収金、立替金、仮払金、未払金、前受金、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、3.に記載のとおりである。

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期末残高
・本部現金・預金	37,284,222	13,616,658
・支部現金・預金	104,938,069	98,827,722
・未収金	5,698,000	7,092,000
・立替金	479,500	180,500
・仮払金	10,369,538	4,114,888
合 計	158,769,329	123,831,768
・預り金	797,678	49,212
・未払金	4,848,011	248,017
・前受金	60,000	0
・仮受金	0	166,064
合 計	5,705,689	463,293
繰越収支差額	153,063,640	123,368,475